



天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は
こう仰せられる。

わたし、主は、
義をもってあなたを
義をもつてあなたを
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
国々の光とする。
イザヤ四十二章5、6節

ジェネシスジャパン秋の創造セミナー



というのは、彼らが創造主の真理を偽りに変え、造り主よりも造られた物を拝み、これに仕えたからである。 創造主聖書ローマ人への手紙1章25節

巻頭言 宇佐神 実 ジェネシスジャパン会長

【進化論】日本の常識！世界の非常識？

ある博物館に行った時、進化論に基づいた展示の解説の中で「今でも世界が創造されたことを信じている人々がいる」という一文が書かれていました。それを読んだ高校生が、「この科学の時代に創造なんて信じている人があるんだ。」と言って驚いていました。

現代の日本人の大部分が同様の感想を抱くのではないのでしょうか。そして言外に「これは日本だけでなく世界の常識だ」という思いも含まれています。

11月12日に、帯広畜産大学にアフリカから留学している学生たちと話す機会が与えられました。そこで彼らの国で何パーセントくらいの人が世界の創造を信じているかを尋ねました。するとその答えは、ケニアの留学生は90～95%、コートジボワール、ウガン

ダ、マダガスカルから来た留学生たちは100%と答えました。ウガンダから来た方は、「私たちは、すべてのものは超自然的存在から与えられるという常識の中で、その存在を常に意識しながら育ちます。この存在は、まさに私たちが生きることの一部なのです。そのような存在はないと考えて生きるなんて思いもありません。」と述べました。他の方々に「みなさんも彼と同じ意見ですか」と尋ねると異口同音に「彼の言う通りです」と答えてくれました。先の日本の高校生の考えと何とかかけ離れていることでしょうか。

私は海外の方と会うたびに「あなたの国では、人口の何パーセントくらいが、世界が創造されたと信じていますか」と尋ねてきました。それら

の方の回答を挙げると、アメリカ合衆国60%、カナダ60%、フィンランド30%、フィリピン95%、インドネシア80-90%、インド99.9%、エジプト99.9%などです。これに対して、多くの方が日本では1%もないのはいかかと回答されました。

どうしてこのような違いが生まれてくるのでしょうか。

私は彼らが何を教えられて育ったかがこのような違いを生む最大の要因だと考えています。戦後の日本では、マスメディアや教育を通して進化論がまるで科学的真実かのように扱われてきました。

一方、この世界が創造されたという立場は公の場で教えられることはまずないでしょう。ですから、日本人の多

く「進化論こそ世界の常識」だと思
い込むのは無理ありません。

先日のジェネシスジャパン主催の秋
の創造セミナーでは、高橋清博士（元
東北大学大学院助教授）に創造の秩序
と題して講演をしていただきました。
その時、最近ノーベル賞を受賞した益
川敏英博士（物理学賞）と山中伸弥博
士（医学生理学賞）の対談の引用があ
りました。

山中 たとえば、アメリカでは今で
も人口の約半分が「進化論」を信じな
いといわれます。

益川 そういう話を聞くと日本人は、
「進化論」を信じないなんて怖い、と
思うかもしれませんが、実は、「進化論」
を信じるのも、ある意味では怖いこと
なんですよ。

山中 はい、なぜなら「進化論」は
まだ誰にも証明されていないからです。
なぜか日本人は、人間はみな猿から進
化したと信じていますが証明はされて
いない。

益川 (一部省略)「ヒトは猿から進
化したのか、それとも神が作ったのか」
と訊かれれば、日本人はなんとなく「猿
から進化した」というほうを信じます
が、それは何の根拠もないわけです。

山中 そのうち、ダーウィンの「進
化論」は間違いだった、ということに
なるかもしれません。¹

日本では、進化論だけが教えられる
ので、多くの人はそれを受け入れない
ことは、非常識だと思ひ込んでしま
います。このことは、聖書を信じている
人にも大きな影響を与えています。多
くのクリスチャンが多かれ少なかれ進
化論の考え方を受け入れ、代わりに聖

書の創造をそのまま受け入れられなく
なっています。

ダーウィンが唱えた進化論には根拠
がないにも関わらず、教えられ信じ込
まされている状況に一人でも多くの
人が気付くことを願っています。また、
聖書を信じている人には、全能で愛の
創造主が存在するなら、死と殺戮と病
気と苦しみの連続である進化の歴史で
できた世界を「非常によかった(創世
記 1:31)」とは言われないことにも
気付いていただきたいと思ひます。天
地創造の記述は文字通り理解する
なら、聖書の内部矛盾が生じないの
です。

多くの国では、かなりの割合で創造
が信じられています。一方、日本では
ほとんどの人が進化論を信じていま
す。その違いは何を教えられてきた
かで決まります。

教育が人の信じることを左右してい
るということ、常識としてもってお
くことが大切ではないでしょうか。

*補足 本文中の山中・益川両博士は、
進化論の立場に立っていますが、それ
でもダーウィンの「進化論」を信じる
ことに根拠がないことを知っていま

引用文献

1.2 山中伸弥、益川敏英著「大発見の思考法」文春新書、2012年11月15日発行
(第五刷) p.186

参考文献

3. Vardiman, L.; Snelling, A.; Chaffin, E. "RADIOISOTOPES AND THE AGE OF THE
EARTH" Institute for Creation Research, 2000



写真 秋の創造セミナー 合唱練習風景

す。益川博士は、先の対話の前で聖書
が嘘をついていると述べています。

益川 (旧約聖書に基づいて) 計算
してみました。すると、人類の歴史は、
せいぜい六千年かそこらにしかならな
かった。もちろん実際には、それより
もっと昔から人類がこの世に存在した
ことは、すでに色々な事象により明ら
かになっています。僕は嘘をつくのは
大嫌いなんです。² () 内は著者の補足

もし人が、誤った情報を正しいと信
じるなら、正しい情報は嘘に見えるも
のです。益川博士の嘘をつくのが大嫌
いだというのは立派で正しい態度で
す。しかし「色々な事象により明らか
だ」と考えている事象が、どれだけ根拠
のあるものかの検証も必要でしょう。

実際に人類が所有する歴史の記録で
さかのぼれるのはせいぜい過去六千年
程度です。また化石や土器などの遺跡
からは、何年前の化石という看板が発
掘されるわけではなく、発掘者の先入
観や、さまざまな仮定や条件に基づく
年代測定法などで決められます。年代
測定法は仮定・条件や、測定法が変わ
れば、異なる年代が出てくるので、絶
対的な根拠とはなりません。³

ジェネシスジャパン 秋の創造セミナー報告

今年も第三回秋の創造セミナーが
ホテルグリーンプラザ白馬にて開催
されました。参加して下さったみ
なさま、お祈りくださったみなさま、
心から感謝いたします。

高橋清先生の講演は、破壊された
秩序とその回復に関してさまざまな
側面から考えさせられました。また、
定評のある鈴木貴則先生の音楽の指
導は、今年も楽しく充実していて、
多くの方々と共に主を賛美する機会
となりました。セミナーの様子は参
加者の感想をご覧ください。

なお来年のセミナーは、講師は日
本における創造論のパイオニアで
ジェネシスジャパン名誉会長の宇佐
神正海師、開催日は2015年10月
28-30日です。今から予定に入れて
いただき、ご参加下さい。共に創造
のみわざを学び賛美しましょう。

参加者の感想

「原発は本当に必要か？」という内容
はとても興味深く聞く事が出来まし
た。ただ反対するというのではなくし
っかりとした理由を提示する事を学
べました。賛美指導が受けられて感謝
でした。普段あまり聞く事のできない
講演内容で感謝でした。 MI

雪のアルプス、びょうぶのごとく力強
かった。大変良かったです。コーラス
練習大変よかったです。学びました。 OS

室内だけではなく、外にも主の恵みが
また広い目でとらえていく事が出来
ると思われました。 SE

温泉でいやされました。食事も種類豊
富で良かったです。バスで美しい風景
を堪能できて感激しました。 HY



創世記からの講演の内容に無駄がなく、
理路整然と話されて、とてもわかり
やすく良かった。原発その他の神
の創造の破壊についてもはっきりと知
る事が出来た。もっと聞きたいと思
った。あつという間の時間だった。 KT

創造主がいかに偉大な方であるのか再
確認できました。多くの人に伝えな
くはなりません。 SY

全ての講演が心に残りました。じっく
り復習したいと思います。特に原子力
発電の推進がいかに人間の自己中心か
らくるものであるかを知る事ができて
感謝でした。雪と紅葉のコラボレーションが素晴
らしかったです！秋をつくられた主をほ
めたたえました。 TK

原子力、遺伝子組み換えなど、わかり
やすく教えて頂いて良かったです。人
工的な原子もある事を初めて知りまし
た。バスツアー、今年は山も見えて、風景
のきれいなスポットにつれて行って頂
いて楽しかったです。 N

高橋先生の講演4回ともよかったです。
一人の講師から連続して話しを聞くの

は良いですね。まとまった学びとなり、
講師の主張が全体的にわかる機会とな
りました。オプションもあって自然の
すばらしさを味わいました。 SJ

いろいろセミナーに参加していますが、
その中で、一番ゆったりと、しかも食
事も温泉も楽しめるよい会場です。一
人の先生からシリーズで聞けるのはよ
いと思います。先生の専門分野のお話
を聖書の視点ではなしていただけるの
は素晴らしい恵みです。 YI

物質の祝福の土台、すべてが良かったで
すが、原子力に関しては自分が余り
にも無知で、政府、政策に洗脳されて
いたことが分かりショックでした。先生
のお話し、研究、主の御業のすばらし
さを教えられ感謝します。すばらしい環
境の一つ一つに感動感謝です。すばら
しい自然、温泉、食事、ホテル全てです。
バスツアーは三段紅葉、創造主のみ
わざの素晴らしさをこの目にしっかり焼
き付けることができ感謝でした。 SM

今回、聞きたかった講演に「イネにつ
いて」がありました。6年前に初めて聞
きましたが、もっと深く、広く聞くこ
とができ本当に感謝でした。見るも
の間くもの全部創造主から見ていると

思うとさらに山がきれいに見えました。食事は毎回楽しみで、一昨年、昨年に続いてここは3回目ですが今回も良かったです。フロントの方笑顔の対応 Very Good! 私個人では、メインメッセンジャーではなく毎日(3日間)違うスピーカーで話しを聞きたいです。もちろんテーマは一つで。次回が楽しみです。ST

創造主が決められた秩序がよくわかり、又、それに手を加える事の恐ろしさも良くわかりました。原発など色々隠された真実を知る事ができて良かったです。SY

稲のしくみが実に利にかなっているもので、計画のもとに造られていることがよくわかった。ふだん食べているお米にさらに愛着がわきました。男女の役割、違い、創造主の意図について合点のいく説明をいただきありがとうございます。人間や自然環境が補完しあうように造られていることを確認できた。計画に無理がなく良かった。賛美指導があるのが大変感謝です。鈴木先生にはこのような素晴らしい指導をおしあずけただき大変ありがたいです。またお願いします。参加者のすそ野が広



がるといいなと思います。もったいないくらいいい内容なので。KS

すべてとても良かったです。食事の席がきちんとコーナー予約されているので毎回顔ぶれの異なる方と交わりが出来て感謝でした。ひとつの会場で殆どのプログラムが行われたので、落ち着きました。部屋も良かったです。だんだん顔なじみとなり廊下であってもあいさつしたり、言葉をかわすことができ感謝でした。TK

大きな期待通りの内容でした、量的にも時間配分も大変良かったです。夜に講義がなく質疑応答が広がる学びになりました。講演を通して信仰が深められ創造主への思いと愛が強められました。本当に素晴らしい内容でした。秋の良い時期で紅葉も楽しめますので良い会場と思います。東京からのバスの送迎も助かります。AM

高橋先生の4回の講演は大変わかりやすく良かったです。私は主の創造の御業の真理を確信しております。また、質疑応答の時間、輪になって話し合ったのは良かったと思います。天候も支えられ皆さんと一緒に創造の不思議を体験できて感謝!美しい山々は見ごたえがあり、記念となるバスツアーでした。YK

GJ/CFJ イベントの予定

■ 2015/4/2 15:00 ~ 4/4 12:00

春の創造セミナー

@あすなろの里 (茨城県常総市)

講師: 山本哲也・加藤義人

宇佐神実

茨城県自然史博物館見学

*対象: 子どもから大人まで

■ 2015/8 調整中

CFJ 聖書&科学カンファレンス

調整中

講師: CFJ 加盟団体講師陣

■ 2015/10/28 15:30 ~ 10/30 12:00

ジェネシスジャパン秋の創造セミナー

@ホテルグリーンプラザ白馬

主講師: 宇佐神正海

ジェネシスジャパン会員読書サークル



12月の書籍は、ヘンリー・モリス著、宇佐神正海訳の「黙示録の記録/第二章『しみやしわやそのようなもの』」を予定しています。

会員読書サークルはジェネシスジャパン会員の方が対象です。参加は無料です。参加ご希望の会員は下記までメールを下さい。アクセス情報をお送りします。

mail: gjm@genesishjapan.com

PCのない会員の方は、実費でプリント版をお送りします。事務局までご連絡ください。

日韓の創造論者による協力

今年8月に日本の4つの創造論団体の協力ネットワークとして日本クリエーションフォーラムが発足しましたが、2014年12月6日には、同フォーラムの発足記念講演会と日韓の創造論団体の協力のための了解覚書の調印式を執り行います。今後アジアにおける創造論団体の協力も視野に入れて互いに協力していきたいと考えていますので、今後とも祈りに覚えていただきますようよろしくお願いいたします。